

様式7

## 河川基金助成事業

### 「ふるさとの川 山科川を見つめて」 報告書

助成番号：2019-7211-019

京都府京都市立池田小学校  
校 長 香村 明寛

令和元年度

助成番号	助成事業名			学校名		
2019-7211-019	ふるさとの川 山科川を見つめて			京都市立池田小学校		
校長名	香村 明寛		担当教諭名	田中 麻衣子		
過去の助成実績	あり〔助成番号：2018-7211-018／助成事業名：ふるさとの川 山科川を見つめて〕					
キーワード	山科川をいつまでも美しく守り生まれ変わらせた					
対象児童生徒	小学生（5年47名）					
対象河川名	山科川	活動場所の指定状況		なし		
年間学習計画（シラバス）における本助成事業の位置づけ						
テーマ	山科川をいつまでも美しく守り生まれ変わらせた					
ねらい	山科川を守り生まれ変わらせる活動を通して、自然愛護や環境問題に関心をもつと共に、積極的に環境美化に係ろうとする意欲を育てたい。					
評価の観点	山科川を自分たちの故郷の川として大切に思い、自然や環境を守ろうとする気持ちが芽生えたか。					
活動時期	R.元.5月～R.2.3月					
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習 ( )	各教科学習 ( )	学校行事	その他 ( )	合計
上記の活動時間数	40 時間	時間	時間	4 時間	時間	44 時間
支援者等（複数記入可）						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関（博物館、資料館）等		関係団体（漁協、農協）等		企業	その他
支援概要	中学校との合同クリーンキャンペーンや地域諸団体・中学校・小中PTAが一つとなって山科川の清掃活動を行う。					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学年単位	学校全体	学年単位	壁新聞・HP・学校便り 等		
安全対策に関する課題						
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校周辺の山科川は、普段は水深が30cm程なので、天気予報を確認し活動を行っている。今年度の助成でもライフジャケットを購入し、川へ入っての活動の際には着用している。</li> <li>川へ入っての活動の際には、怪我が起こらないように十分注意を払っている。</li> </ul>						
活動の成果と今後の課題・展開						
<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校や地域の諸団体と合同で年数回、清掃活動を行ってきた。</li> <li>それに合わせて校内では、クン集会和題して5年生が企画進行を進める集会活動を行っている。</li> <li>これまでの継続した取組により、少しずつ山科川が美しくなってきた一方、ごみや自転車の投棄等まだまだ悲しい現状も残っている。</li> <li>これからも子どもたちから地域に向けて呼び掛けを継続していきたい。</li> <li>学校周辺だけでなく、上流から下流までそれぞれの地域で連携した取組を行うことで、単なる河川美化活動ではなく、郷土愛に関わる大切な役割を果たしていることを考えられるようにしていく必要がある。</li> <li>その為、河川レンジャー等からも助言をいただきながら、活動を継続・発展させていきたい。</li> </ul>						
活動内容と実施時期（主な活動を2つのみ記入）						
データベースに登録する活動分野	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
	学校部門	教育活動	生物調査系 清掃活動	水生昆虫・魚類 学校主体の活動	5～9月 5・11月	

## スタートアップ活動報告書

1.助成事業	ふるさとの川 山科川を見つめて		
学校名	京都市立池田小学校	助成番号	2019-7211-019
2.実施した教科・領域	総合的な学習の時間		
3.実施日時	R.元.5～R.2.3		
4.単元目標	山科川を守り生まれ変わらせる活動を通して、自然愛護や環境問題に関心をもつと共に、積極的に環境美化に係ろうとする意欲を育てる。		
5.学年 人数	小学5年 47名		
6.実施場所	山科川周辺		
<b>活動指導報告実施内容 第5学年 総合的な学習の時間「ふるさとの川 山科川を見つめて」 全40時</b>			
第1次	学習活動	6時間 川の活動2時間	
	<p>○山科川へ出かけてき、自然環境の視点で話し合い、これからの活動計画を立てる。</p> <p>・意欲的に活動に取り組み、体験したことを通して、自分が感じたこと・考えたことを交流し合い、自分たちとの関わり合いを明らかにした課題を見付け、活動計画を立てる。</p>		
第2次	学習活動	14時間 川の活動10時間	
	<p>○調査活動を行う。(・水辺の植物について・水辺や水中の動物について・川,河原に捨てられているゴミについて・山科川の水質について)</p> <p>・調査方法について話し合い、自分たちなりに計画性をもって、課題に対する自分の仮説をもって追究する。</p>		
第3次	学習活動	20時間	
	<p>○クリーン集会で全校児童に対し、「池田クリーン宣言」を発表する。</p> <p>○学習発表会で自分たちの追究活動の進捗状況や成果について発表する。</p> <p>・活動を通して気付いたこと等を表現する。</p> <p>・得られた情報を取捨選択して、活用する。</p> <p>・身に付けた考え方等を活かして、生活を見直す。</p>		

# 総合的な学習の時間 学習指導案

池田小学校

- 1 日時 令和元年 10月10日(木) 第5校時
- 2 学年・組 第5学年 (47名)
- 3 単元名 「ふるさとの川 山科川をみつめて」 5月～3月 総時間 40時間

## 4 単元の目標

- ・課題に対して調べる方法を考えて、自分たちなりの計画に従い、考えをもって追究することができる。  
【探究】
- ・地域の川「山科川」について環境を専門とする方に話を聞いたり、川の調査や清掃活動をしたり、様々な体験を通して、情報を集めて、友だちと考えを交流し合い、自分の見方や考えを深めることができる。【協同】
- ・学習を通して、身に付けた考え方や解決の方法を自分の生活の中に活かし、生活を見直していくことができる。【自己】

## 5 単元の評価規準

視点	つきたい力	評価規準
学習方法に関すること	設定力 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験を通して、自分が考えたことを交流し合って、自分との関わりを明確にした課題を設定している。</li> <li>・身近な問題から、自分と周囲の関係を考え、課題を設定している。</li> </ul>
	追究力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して調べる方法を考えて、自分なりの計画に従い、考えをもって追究している。</li> <li>・課題解決に必要な情報を収集したり、他の情報と合わせたりして、効果的に活用しながら学習を進めている。</li> </ul>
	表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「山科川」に対する自分の考えを、調査に基づく複数の具体的な根拠とともにまとめて、工夫して表現しようとしている。</li> </ul>
他人や社会との関わりに関すること	人間関係力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの考えを交流し合って、考えを深め、自分の中に取り入れようとしている。</li> <li>・学習を通して、身に付けた考え方や解決の方法を自分の生活の中に活かし、生活を見直している。</li> </ul>
	評価力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したこと等から、自分なりに調べてみたい課題を見つけようとしている。</li> </ul>
自分自身に関すること	実践力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題追究の中で、新たな課題を見つけて、意欲的に学習しようとしている。</li> <li>・学習を通して気付いたこと・分かったことを工夫して表現しようとしている。</li> </ul>

## 6 単元について

### ○テーマ「ふるさとの川 山科川をみつめて」

5年生になって初めの総合的な学習の時間に、学習内容を知らせると子どもたちから、「毎年クリーン集会で5年生が発表してくれていること」「川の清掃を続けていること」という反応があった。今年自分たちの番だという意識が視われた。そして「なぜ山科川について学習するのか。」と発問すると、「自分たちの地域に流れている川だから、自分たちで学習して、守っていきたい。」という前向きな意見が返ってきた。子どもたちからは、自分たちにとっては醍醐のこの場所が「ふるさと」になる、「自分たちが生まれ育った地域にいつまでも美しい自然が残された場所であってほしい」と、学習に対して積極的な発言が多く聞かれた。子どもたちにとって山科川は身近な川であり、守りたいという意欲が高いことが分かった。子どもたちが学習内容を把握したところで、河川の環境問題に長年取り組んでこられている方の話を聞いた。話を聞く中で、山科川も野鳥や野草、昆虫などが住む川にしたいという思いが強くなり、自分たちも頑張りたいという気持ちをもてたようだ。

この単元では、山科川の調査を通して、自然を守る活動を経験し、地域に関わっていく。地域の人々の手で山科川が守られていること、池田小学校の先輩たちがこの学習を通して山科川を守ってきたことを知ってほしい。そして、自分たちが社会に参画する経験をし、自分の力を見直し、仲間と協力する楽しさを知ること、これからの学習でも自信をもって取り組めるようになるであろう。さらに、故郷への思いをさらに深め、山科川への愛着をもってほしいと願う。

### ○体験を活かす

子どもたちは、登下校時や放課後に山科川をほぼ毎日見ている。授業前に聞くと、児童は山科川に対して「少し汚い」というイメージをもっていた。それは、「ごみがあるから」、「兄が調べた時少し汚い川になったと聞いたから」などの理由があった。そこで、単元の初めに、堤防を歩き、山科川を観察した。そうすると、「思っていたよりも山科川がきれいに見える。」と感じた児童が増えた。次に、山科川に実際に入って調査活動をする。この活動を通して、児童は、水の中に入って水質調査をしたり、ごみの調査をしたりすると、橋の上からでは分からない水の汚れや、上からは見えていないごみがあることに気付いた。

子どもたちの考えは「山科川は汚い」ではなく、「山科川はきれいに見えるけれど、実際には汚れやごみがある」というように変化した。次に、「山科川をきれいにしよう」という思いをもち発信する活動をする。その際には、環境問題に詳しい専門家に来ていただき、児童の話を聞き、意見を述べていただく。また、児童が考えた案に対して、アドバイスをしていただき、自分たちに実現可能な発信方法を考えていく。自分たちの考えだけでなく、外部の方に話をしてもらい機会を設けることで、客観的な見方が広がり、考えや認識が深まると考えた。そして、まとめた自分の考えを社会に発信・提案していくことで、自信となり、これからも地域を守っていこうという気持ちが高まると考えた。

### ○探究的な学びを活かす

#### 発見課題<山科川について調べよう>

普段登下校時などに何気なく見ている山科川を橋の上から意識的に観察し、山科川について知っているようで知らないことが多いことに気付く。そして、この時点での山科川の良さや課題を探し、自分たちにできることのイメージを膨らませる。事前に児童に尋ねると、「山科川は少し汚い」というイメージをもっているようであった。しかし、毎年5年生がこのテーマで総合的な学習の時間に取り組んでいることもあり、山科川はきれいになってきている。橋の上から見る山科川は、児童がもつ「少し汚れている川」のイメージよりもきれいに見えると考えられる。そこで、児童は「きれいに見えるけれど、本当にきれいなのか」という新たな課題をもつようになる。

### 追究課題<山科川は本当にきれいなのか調べてみよう>

児童は、「見た目では分からないところで川は汚れているのではないか」と考える。そこで、調査の方法を考える。「水を詳しく調べる方法はないか」、「どんなごみが落ちているのかを調べてみたい」、「どんな生き物がいるのか」など、様々な角度から山科川を調査しようとする。各グループに分かれて、自分たちで案を出し合い、それらの方法で調べていくと、ごみが多いことや、きれいな川に住む生き物が少ないことなどが分かった。この調査を受けて、「山科川を自分たちの手で守ろう」という気持ちが高まった。

### 提案課題<「自分たちの手で守ろう山科川」を提案しよう>

さらに、自分たちで調査し、考えたことを地域や全校に提案するためには、看板をつけることやポスターを貼ることなどの意見が出た。自分の思いを表現する楽しさや、そのことへの自信をつけることができると考えている。

### 熟成課題<地域の人やお家の人にアドバイスをもらおう>

自分たちが考えた提案方法の中には、実現可能であるものと、不可能であるものがあることを知り、第三者からの意見を聞き、修正を加えながら提案していくことの大切さを知る。

### 表現課題<「自分たちの手で守ろう山科川」を実行しよう>

修正を加えながら確立してきた自分たちの考えを社会に提案する。そして、児童は、「今後も山科川を守っていこう」という気持ちをもったり、山科川だけではなく他の環境問題に関心をもったり、視野が広がると思われる。また、自分の思いを発信する経験を通して、今後への自信につながると思われる。この学習を通して、自分たちが社会・地域に関わっていけることに喜びを感じるようになる。

### ○協同的な学びを活かす

自分たちが調べてきた内容を友だちに伝えて質問や感想をもらったり、専門家から意見やアドバイスをもらったりすることは、今後の活動の方向性や子どもたちの意欲を膨らますきっかけになると考えられる。尋ねられて答えられないことは調べてから伝えるようにする。

環境を専門とする方に話を聞き、自分たちの提案を修正する際には、友だちと意見を交流する。同じ話を聞いていても、受け取り方や感想は様々であり、提案に対して多様な見方をすることができる。また、自分の意見と同じ意見をもつ人がいると、児童にとって大きな安心となる。そして、自信をもって意見を述べることができる。

提案をする際には、看板やポスター、学校 HP などを活用することになるだろう。その時に、児童は、協力して一つ一つのものに取り組む楽しさを知り、一緒に物事を進めることよさを実感すると考えられる。

学級内だけではなく、環境を専門とする方やお家の人に意見をもらう機会をもつ。これまで知らなかったことを知って視野が広がったり、足りない部分に対してアドバイスをもらったりすることで、児童は、第三者の目で客観的に見てもらうことの大切さを知るだろう。また、大人に自分の考えを伝え、反応をもらうことは、とても刺激や意味のあることであり、考えを練り上げるために非常に効果的な体験であると考えている。

### ○実践的な学びを活かす

児童は、山科川を調査し、意見をまとめた「自分たちの手で守ろう山科川」を地域の方や全校に提案していく。自分の学びを自分や学級内だけでとどめるのではなく、社会に発信することで、社会に関わる喜びや意義を感じることができると考えられる。

また、自分の中で確かになった学びは、これからの学習や生活につながっていく。「私たちの山科川」から、他の河川、さらに自然や地球環境について考える際にも、大いに役立つと思われる。また、この学習を通して得た「自分で課題を見つけ、解決方法を模索し、修正しながら提案に向かうプロセス」は、今後の児童の自信となるであろう。今後はこれを応用して、自ら問題を解決していけるようになることを願っている。



5年 私たちの山科川

探究の過程	学習の流れ	協同的な学び
<p>発見課題の設定</p> <p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p> <p>まとめ・表現</p> <p>追究課題の設定</p> <p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p> <p>まとめ・表現</p>	<p>「私たちの山科川について考える」</p> <p>発見課題 <b>山科川について調べよう</b> 6h</p> <p>山科川を橋の上から見てみよう 流れが速いな きれい 鳥がいるな 浅いな 草が生えている 魚はいるのかな</p> <p>たくさん出てきた疑問について調べていきたい</p> <p>続けて観察していこう 詳しい人に話を聞こう 本やインターネットで調べよう</p> <p>水質 美しさ 生き物 守る</p> <p>山科川はきれいに見えるな。でも本当にきれいなのかな</p> <p>追究課題 <b>山科川が本当にきれいなのか調べよう</b> 14h</p> <p>川に入って調べよう 透明か見る 生き物が調べ ごみの種類を調べる 植物調べ</p> <p>水質調査 ごみ分別 生き物調査 植物調査</p> <p>きれいな川の水質ではないようだ 大型のごみがたくさんある 「きれいな川にすむ生き物」は少ない 予想より植物の種類が多い お菓子のごみがある 「少し汚い川にすむ生き物」が多い この生き物は何だろ 名前を知らない植物が多い</p> <p>グループで調べたことを交流しよう 2h</p> <p>山科川をなんとかして自分たちの手で守ろう</p>	<p>○山科川について収集した情報を友だちと交流してキーワードにまとめる。</p> <p>○キーワードをもとにウェブマップで整理し、友だちの意見と比較したり、関連付けたりして課題を設定する。</p> <p>○見付けた一つの視点(キーワード)から異なる対象物を見たり、異なる視点から一つの対象物を見たりして、友だちの意見と比較したり、関連付けたりして考える。</p> <p>○友だちの意見と比較したり、関連付けたりして課題を設定する。</p>
<p>提案課題の設定</p> <p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p> <p>まとめ・表現</p> <p>熟成課題の設定</p> <p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p> <p>まとめ・表現</p> <p>表現課題の設定</p> <p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p> <p>まとめ・表現</p>	<p>「自分たちの手で守ろう山科川」の考えを練り上げる</p> <p>提案課題 <b>「自分たちの手で守ろう山科川」を提案しよう</b> 6h</p> <p>情報を発信しよう 学校HPで発信しよう テレビで発信できるかな ポスターにまとめたいな 看板を作りたいな 掲示板を使おう</p> <p>イベントに参加しよう ボランティア活動に参加したいな</p> <p>本当にこの方法で実現できるのだろうか</p> <p>熟成課題 <b>地域の人やお家の人にアドバイスをもらおう</b> 2h</p> <p>意見をもらおう 別の方法にした方がいいかな もっと分かりやすいポスターにした方がいいな チラシを借りてみてはどうだろう</p> <p>もう一度調べてみよう ポスターには写真を入れよう 場所をきちんと考えよう</p> <p>修正してよりよいものにしよう 昨年取り組んでいないことにも挑戦しよう</p> <p>私たちの活動の様子を伝えたい 思いが伝わるものにしよう 一緒に川を守ろうと思っていきたいな</p> <p>私たちの手で山科川を守っていけるといいな</p> <p>表現課題 <b>「自分たちの手で守ろう山科川」を実行しよう</b> 10h</p> <p>山科川の良さを広めたい きれいな山科川をみんなで作り守っていきたいね</p> <p>クリーン宣言をしよう 5年生の思いを伝えよう 池田小学校としての宣伝になるね</p> <p>全校に伝えよう 山科川の魅力が伝わったかな みんなに見てもらえて嬉しいな</p> <p>続けていこう 山科川だけではなく、環境問題に取り組んでいきたいと思った 自分の思いを発信する力がついた</p> <p>山科川を調べ、きれいにする事で、自然の大切さが分かった。今回の授業を通して、自分たちが地域に関わっていけることを知った。これからも山科川や地域の自然を自分たちの手で守っていきたい。</p>	<p>○山科川について追究してきたことを友だちと交流し、ポスターなどにまとめ、提案する。</p> <p>○山科川について考えてきたことを提案するために、地域の人やお家の人からの感想・意見を述べてもらって、改善していく。</p> <p>○山科川について熟考したことを友だちと交流して、全校に提案していく。</p> <p>○山科川についての認識がどのように深まったかを振り返る。</p> <p>○どのような力がついたかを振り返る。</p>

8 本時の目標

各グループで調べたことを交流し、分かったことや考えたことをもとに、自分の考えをもつことができるようにする。

9 本時の展開 (22/40 時間)

学習活動と予想される児童の反応	教師の活動・支援
<p>1. 本時の学習のめあてと活動内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>調べたことを交流し、自分の考えや今後の活動を考えよう。</p> </div> <p>2. 各グループで、調べてきた内容を報告しよう。(後半) ○前半の交流会を通して、より分かりやすくするためにどうしたらいいか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たち〇〇グループは△△・□□・・・という内容を中心に調べてきました。</li> <li>・分かったことは、～です。</li> <li>・気が付いたことは、～です。</li> <li>・質問や聞き逃したことはありませんか。</li> <li>・発表の内容を聞いて、感想や考えたことを言ってください。</li> </ul> <p>3. 交流会を通して、感じたことや考えたこと発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見た目は透明でも、住んでいる生き物や水質検査の結果からまだまだきれいとは言えないのだな。</li> <li>・普段は、意識していなかったが、堤防にはこんなにたくさんの種類の草花があったのだな。</li> <li>・雑草の隙間や足元を良く見ると、たばこの吸い殻がこんなに落ちていたとは、気が付かなかった。なんとかしたいな。</li> <li>・五年生の活動を地域の人にも広めたり、いっしょに活動したりできたらいいのにな。</li> </ul> <p>4. 専門家の話を聞く。</p> <p>5. まとめ</p>	<p>教師の活動・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさや・話すスピード・聞き手の様子を見ながら進めるなどを意識できるようにする。</li> <li>・初めに調べた項目を伝え、そのあとくわしく結果を報告するように指導する。</li> <li>・もう少し調べたいことや、調べている途中の内容も伝えるように促す。</li> <li>・迷っていることがあれば伝えるように促す。</li> <li>・事実と自分の考えを分けて話すようにする。</li> <li>・他のグループの報告から気がついたことや自分の調べたことと重ねて考えたことやこれからできそうなことを話し合う。</li> <li>・新たな疑問や継続して調べたいこと等、今後の活動につながることも含めてまとめられるようにする。</li> <li>・専門家のアドバイスには、子どもたちが今後の活動を具体的にイメージしたり、地域や友だちに発信していく意欲につながったりする話をしてもらうようにする。</li> </ul>



## 10 評価（方法）

調べてきたことを分かりやすく説明したり，聞いたりする活動を通して，自分の考えをもつことができる。

【追究力】（行動観察・発言・ワークシート）

板書

ふるさとの川 山科川を 見つめて

～自分たちができること～

めあて 調べたことを交流し，感想や今後の課題をもとう。

グループ交流表

山科川の現状

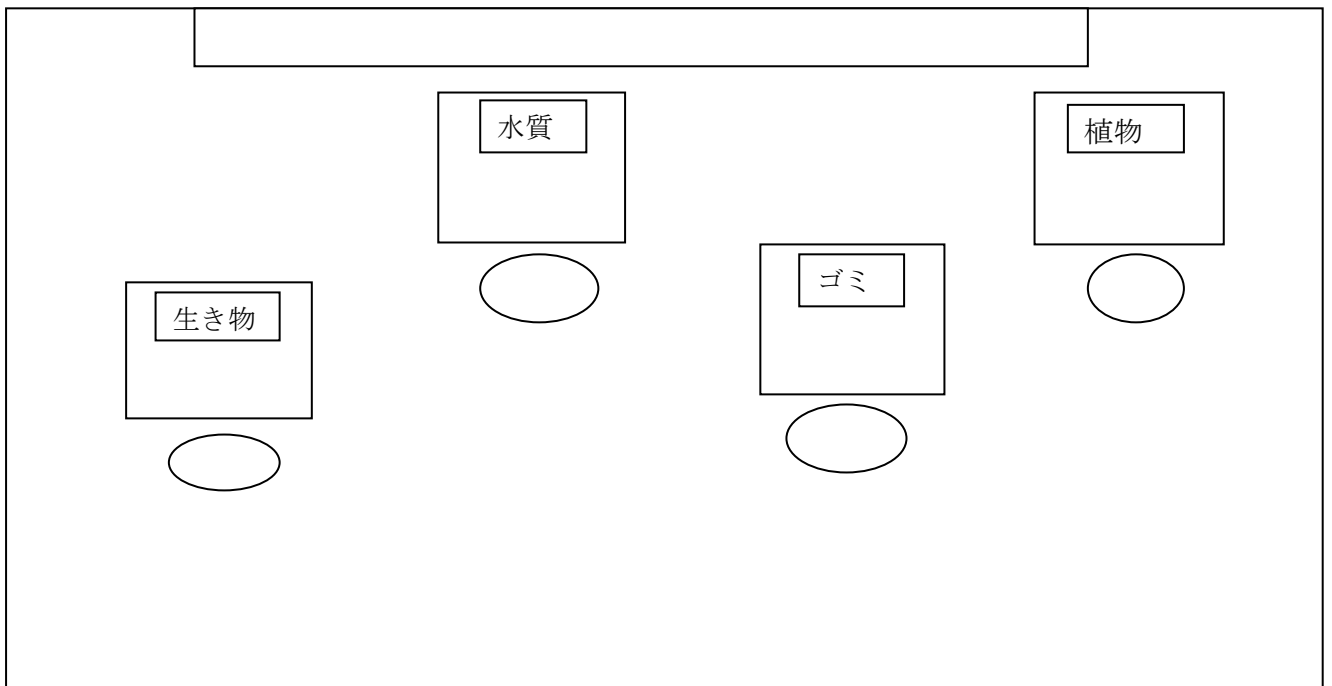
→ 今後自分たちができること

水質

生き物

植物

ゴミ



助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2019-7211-019	ふるさとの川 山科川を見つめて	京都市立池田小学校 香村 明寛



フィールド：山科川堤防

日付：5月

コメント：山科川堤防での活動

河川敷から山科川を改めて見る

↓

普段は気付かないことにも気づき、  
感じたことを交流し合い、これからの  
学習計画を立てる。



フィールド：山科川

日付：6月

コメント：川の様子を調査

5月に河川敷から見た山科川に

実際に入ってその様子を調査。

↓

河川敷から見ただけでは気付かない  
ことにも気づき、次の活動に繋がる。



フィールド：山科川・教室

日付：6月・10月

コメント：川の水質調査

実際に中に入ってみると、生物が  
思いの外たくさんいた。

山科川の水はきれいなのかパケット  
を使って調査。

時期を変えて、2回実施。

注) 写真は5～6枚程度(枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。)

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2019-7211-019	ふるさとの川 山科川を見つめて	京都市立池田小学校 香村 明寛



フィールド：山科川

日付：6月

コメント：5月に川へ入ってみるとゴミの多さに驚いた。

どのようなものが捨てられており、又、どのような種類のゴミが多いのか調べた。



フィールド：山科川

日付：7月

コメント：何度も川に入っているうちに、どんな生物が生息しているのか、気になってきた。

生物調査を目的に山科川へ入る。



フィールド：体育館

日付：11月

コメント：学習発表会

5年生が調べてきた環境について全校へ発信する。長期間の学習の中間発表的な活動。

※年度末に例年行っていた学習のまとめを地域へ発表する機会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。

注) 写真は5～6枚程度(枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。)

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2019-7211-019	ふるさとの川 山科川を見つめて	京都市立池田小学校 香村 明寛

主な実施箇所

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。  
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。



助成事業の主な実施箇所